

京都大学人文科学研究所新型コロナウイルス感染防止などの行動自粛にとも

なう共同利用・共同研究拠点企画報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

『環太平洋地域における移動と人種』の英語版出版のための翻訳事業

2. 主宰責任者氏名

竹沢泰子(京都大学人文科学研究所教授)

田辺明生(東京大学大学院総合文化研究科教授)

3. 概要(400字程度)

本事業は、申請者の共編著『環太平洋地域における移動と人種』(京都大学学術出版会、2020.1刊行)をもとに、海外の読者向けに修正し、英語論文集として出版することを目標として、そのなかの一部の章を英語に翻訳するものであった。原稿の完成までには、2度の合評会(2020年8月24日、オンラインによる人文研アカデミーとして開催し、実質90名参加者をえた。2度目は2020年12月27日、対面とオンラインのハイブリッドによる非公開の合評会)を経て、さらに修正を加えた。いずれも第一線で活躍する評者らにより、海外の人種研究が環大西洋をモデルとするのに対し、環太平洋地域における移動による人種化は、環大西洋と環太平洋の人種関係が入れ子構造となっており、より広範性をもつモデルを提供していると評価された。本事業は、単なる英訳ではなく、2度の合評会や執筆者間の度重なる議論を通して、さらに進化させた形で海外発信を試みるものである。

4. 参加者等

翻訳事業の対象は、鬼丸、関口、土屋、成田の4論文。

以下は、事業全体の参加者

①学外

平野克哉(カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部准教授)

鬼丸武士(九州大学比較社会文化研究院教授)

関口寛(四国大学経営情報学部准教授)

内野クリスタル(同志社大学講師)

土屋和代(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

成田龍一(日本女子大学名誉教授)

田辺明生(東京大学大学院総合文化研究科教授)

学内

徳永悠(京都大学地球環境学堂准教授)

所内

竹沢泰子(京都大学人文科学研究所教授)

5. 助成金の使途等

翻訳代 26000字 x12円 x8本=2,496,000円 そのうち4本=1,200,000円

6. その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

特になし